

OMIYA ● URAWA

さいたま市民は絶対に見過ごせない対決！
大宮VS浦和がテーマのトレーディングカードゲーム
偏愛伝説カードバトルさいたま伝
について特集します！

2025年4月に発売された「さいたま伝」。
大宮VS浦和の対決をテーマにした、2人対戦用の
トレーディングカードゲームで、大宮と浦和の
それぞれのデッキを使い、伝説の地「さいたま」
をいち早く占領した方が勝利するというルール。
なぜ、大宮VS浦和を題材にカードゲームを作っ
たのか。その制作秘話を、企画・販売をされた
大宮アルシェさんに伺ってきました。



制作に携わった営業運営部の佐藤 成美さん(左)、中島 祥雄さん(右)

大宮 アルシェ

1994年に開業。大宮駅西口に隣
接した複合型施設。
ファッションや雑貨店だけでなく
FM NACK5のサテライトスタジオ
も併設。若者を中心に賑わい
をみせる、大宮駅西口を代表す
る商業施設のひとつ。

なかじま よしお 中島 祥雄 さん

大宮アルシェ 代表取締役社長。
1968年埼玉県さいたま市(旧与野
市)生まれ。
2014年に代表取締役に就任。
大宮の発展と文化の向上を目指す
「TEAM大宮」の一員として、地域
活性化の為に活動に日々、貢献し
ている。

[1] 大宮VS浦和を題材にしたトレーディングカードをつくる ことになった、きっかけや経緯を教えてください。

ご当地ネタとして※「大宮ガチャタマ」を企画し、
販売していたのが、トレーディングカードをつくる
きっかけのひとつでした。
「大宮ガチャ」の第一弾を販売したのがコロナ禍で、
イベントを開催しても人を集めにくい時期でもあり
ました。そんな中でも面白い事が出来たらと思い、
地元の人しかわからないようなネタで商品をつくり
ました。
のちに、「浦和ガチャ」も制作したことで、浦和の
様々な方とも知り合うことができました。発売後の
反響が大きく、多くのメディアの方々にもとりあげ
ていただき、その取材を受けているなかで、次の企
画として「大宮VS浦和」を題材にした商品がつけ
ないかと考えていました。

もちろん、この対立のなかで触れてはいけない部分
もあるかと思いますが、最近ではメディアや映画
でも大宮と浦和の対立を取り上げていて、それを楽
しく見ている方が多いですね。
お互いについて熱くなってしまうこのライバル関係
を地域を盛り上げる力にできたらと思っていたタイ
ミングで、ゲーム制作集団「PANTS」さんと知り合
い、トレーディングカードをつくることになりました。



※「大宮ガチャタマ」
通称「大宮ガチャ」。現在、第6弾まで発売されている。
大宮の魅力を地元住民にしかわからないようなマニ
アックなネタでキーホルダーにしている。その後は浦
和ガチャや、与野ガチャも発売。
売上金の一部はさいたま市に寄付され、地域の文化
振興に役立てられている。

[2] 開発期間中に、印象的だった出来事や苦労をした 点について教えてください。

始めは気楽な気持ちで制作をスタートしましたが、
完成までに3年かかりました。途中で何度もやめ
てしまおうかなと思うこともありましたが、多く
の方に協力をお願いしたからには、完成させな
ければという思いで発売までたどりつきました。

一番苦労したのは、カードのネタにするにあたっ
ての許可取りですね。大宮VS浦和という、お店や
立場によっては非常にセンシティブなテーマで、
面白いと言ってくれる方がいる一方で、お断り
をされてしまったことも多々あります。
どちらが強い、弱いという決め方で勝敗が決まら
ないルールであることや、お互いのライバル意識
を、街を盛り上げていく力に変えようという趣旨
のゲームであるということを根気よく説明させて
いただきました。

ちょっとふざけたテーマだからこそ、ルール自体
は本格的なものにしたのですが、そのルールを店
舗さんなどに説明することにも苦労しました。
しかし、本格的なカードゲームだからこそ、一度
遊んでおもしろいではなく、長く楽しんでいただ
けるような商品がつけられたのではないかと思います。

[3] 発売後の反響について教えてください。

褒め言葉が分かりませんが、「思っていたよりも、
ちゃんとしている」とお声をいただくことが多い
ですね。3年かけて作ったものが報われたように
感じました。
SNSなどで怒られるのを覚悟していたのですが、
そのような反応がまったくないのが意外でした。
カードのネタひとつひとつを、みなさんがおもしろ
がってくれているのが嬉しいですね。

大宮VS浦和というテーマがメディアや映画を通し
て、いい意味でいじられていることで、このよう
な地域ネタで面白がってくれる方が多いのかもしれ
ません。
大宮と浦和が合併して20年以上たちましたが、
お互いへのライバル意識が残っていることで、熱
くならぬのではないかと思います。
トレーディングカード自体が世界的なブームにな
っているなかで、あえて大宮VS浦和という埼玉県
民以外にとってはどうでもよいと思うようなこと
をカード化するというギャップも面白いのかなと
思います。



大宮アルシェ内のCDショップにて発売されている「さいたま伝」

[4] 今後の展開について

ゲームのルールが本格的なので、もう少し簡単な
ルールのものが出せたらと思っています。現在販
売しているカードの拡張パックも販売できたら、
カードを集めるという楽しみ方も増えるのではな
いかと思います。
今後は世界大会も開催したいと考えており、会場
は大宮でも浦和でもなく中立地帯の中央区にある、
さいたまスーパーアリーナにしたいですね。

大宮図書館スタッフで実際に
「さいたま伝」対戦してみました！



「さいたま伝」についての
詳細やルールはこちらから！



大宮在住スタッフ VS 浦和出身スタッフ 大宮図書館スタッフで「さいたま伝」対戦してみました！

プレイヤー

大宮在住スタッフ(大)

大宮人まだ30年の若輩者ですが、大宮プライドをかけます！

浦和出身スタッフ(浦)

大宮で働いているけど、今日は浦和代表として頑張ります！

さいたま市在住歴なしスタッフ(埼)

大宮と浦和の熱き戦いを羨ましく思う埼玉県民



大宮図書館より、大宮在住スタッフと浦和出身スタッフを選抜。一度もさいたま市に住んだことのないスタッフが公平な目で対戦を見守りました。

埼：大宮VS浦和がテーマのカードゲームが出たと聞いたとき、どう思いましたか？

大：ついに申し込んだのねと思いました。

浦：人によっては、冗談にならない戦いですがらね。

地元ネタ満載のデッキにもかかわらず、ルールは本格的なトレーディングカードゲーム。公式サイトチュートリアルをみながら対戦を開始しました。

埼：ルールがかなり本格的ですね。おふたりは事前に説明書を読み込んでいたのでデッキの準備がはやすい！

大：普段カードゲームをやらないので、少し戦略研究が必要ですね。

浦：ルールに集中しすぎて、大宮と浦和の戦いなのをゲームがはじまる前から忘れてしまっすね(笑)

ネタ満載のデッキだけではなく、歴史を感じるカードも。

埼：それぞれのデッキで気になるものはありましたか？

大：『古き良きシンボル』っていうカードが気に入りました。旧大宮市の市章で八咫鏡が描かれていることをこのデッキで知り、とても勉強になりました。

浦：浦和も似たようなカードで『古の紋章』がありました。これも旧浦和市の市章で、小学生の頃に学校とかでよく見かけていたので、懐かしさを感じます。

大：この大宮のカード『なぜか2位』もいいですね。2024年の首都圏住みたい街ランキングの順位で、誇らしい気持ちがある一方で、横浜の街並みを見るとつい、1位と2位の差がすごいあるなと思っちゃいます(笑)

浦：浦和がケーキの消費金額元全国1位の『スイーツマニア』というデッキが好きです。浦和はケーキ屋さんが多くて、地元民だからこそ刺さるカードですね。



ゲーム開始から約2時間、浦和が先に4つのエリアを占領し、今回の勝負は浦和出身スタッフが勝利して終わりました。

埼：決着がつくまで長かった！

浦：それぞれのデッキの効果をみたり、サイタマナ(※ゲーム内のポイント)の計算をしたり、頭を使いました。

埼：大宮VS浦和がテーマだけど、直接的にその対立で戦うルールではなかったのて平和に終わりましたね。

大：ルールは難しかったですけど、慣れたらデッキの効果を活用したいな。

浦：使っていないデッキもいくつかありましたね。この『浦和の民の誇り』某百貨店カード使いたかったな。

埼：写真の許可が下りなくてモザイクがかかっているデッキです(笑)

大：ルールは複雑ですが、一度遊んで終わりではなく、何度遊んでも楽しいカードゲームだと思いました。

浦：今度、家族で遊んでみようかな。

大宮VS浦和の戦いだったことをすっかり忘れ、平和に対戦が終了しました。めでたしめでたし...



ルール

さいたま伝の舞台は、西暦30XX年。実際にあるスポット、名物、飲食店、文化などが描かれたカードを使って、ふたりで伝説の地「さいたま」の占領を競い合うバトルゲーム。カードを使って市民を生産し、「さいたま」の土地に定住者を増やし、先に4つのエリアを占領したプレイヤーが勝ちになります。

45枚あるカードには名所に加えて、「地元ネタ」が盛りだくさん！

埼玉をとことん「イジリ」倒した映画『翔んで埼玉』。取材にてお話を伺った中島さん、実は2作品目にちょこっと出演しているとかいないとか...!?

中島 祥雄さん

おすすめ本

『小説翔んで埼玉』

魔夜峰央／原作 徳永友一／脚本・著
宝島社文庫 2023年



埼玉県人が東京に行くには通行手形が必要な世界。東京都知事の息子・百美が通う高校に、アメリカ帰りの麻実麗が転校してきて!? 映画のノベライズ。原作者・魔夜峰央の描き下ろしエッセイマンガも収録。

『小説翔んで埼玉』

～琵琶湖より愛をこめて～

魔夜峰央／著 徳永友一／脚本・著
宝島社文庫 2023年



埼玉に海を作ることを考え、白浜の砂を手に入れるための和歌山県へと向かった麗は、滋賀解放戦線のリーダーと出会い…。2023年11月公開映画のノベライズ。原作者、魔夜峰央による描き下ろしエッセイマンガも収録。

さいたま伝 まだまだおもしろいカードあります

【伝説のリス】

JR大宮駅東口前にある、銅像の「こりすのトトちゃん」カード。大宮市政50周年記念のキャラクターとして活躍しました。作者は大宮出身の絵本作家、あすかけんさん。「こりすのトト」シリーズとして全5作品の絵本が刊行されています。



【そこらへんの草】

大宮、浦和の両デッキにあるカード。『翔んで埼玉』の作中の代表的なセリフ、「埼玉県民にはそこらへんの草でも食わせておけ!」にちなんだネタ。浦和の雑草が、大宮よりすこしおしゃべりな所もポイント。



埼玉を読む